

ブラームス: 交響曲第1番

H. S.

2017.05.07-

目次

はじめに	3
第1章 作曲に関する経緯	4
1.1 背景	4
1.2 作曲過程	4
1.3 初演	4
1.4 出版	4
第2章 作品の構造	5
2.1 概観	5
2.2 第1楽章	5
2.3 第2楽章	5
2.4 第3楽章	5
2.5 第4楽章	5
第3章 演奏と録音	6
3.1 初演から出版まで	6
3.2 19世紀ドイツ・オーストリアにおける受容	6
3.3 ヨーロッパおよびアメリカ	6
3.4 日本における演奏史	6
3.5 録音	6

はじめに

第1章

作曲に関する経緯

1.1 背景

1.2 作曲過程

1.3 初演

1.4 出版

第2章

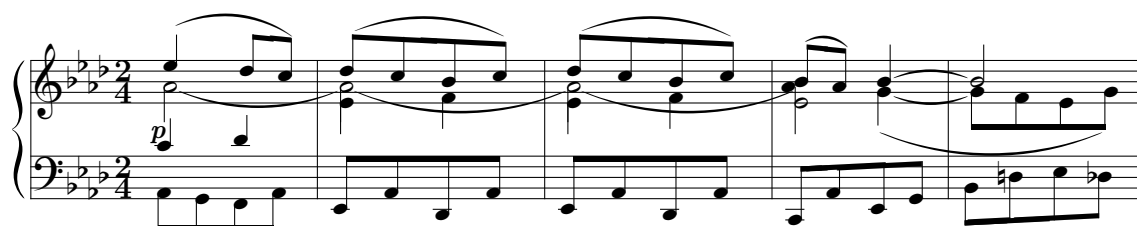
作品の構造

2.1 概観

2.2 第1楽章

2.3 第2楽章

2.4 第3楽章



譜例 1: 第3楽章冒頭

第3楽章冒頭を譜例1に示す。クラリネットで提示される2拍子の優雅な旋律だが、ブラームスらしく5小節を単位とする変則的な構造を取る。しかも、2拍子が5小節続くのではなく、2+2+3+3という変拍子である。

2.5 第4楽章

第3章

演奏と録音

3.1 初演から出版まで

3.2 19世紀ドイツ・オーストリアにおける受容

3.3 ヨーロッパおよびアメリカ

3.4 日本における演奏史

3.5 録音